

## 道の駅「愛彩ランド」と和歌山大学との連携

道の駅「愛彩ランド」と和歌山大学（経済学部）の学生が連携して、道の駅運営についての重要課題に取り組み、道の駅を拠点とした地域活性化に向けた企画提案を行います。

- ・農林水産物直売所・農林水産物加工施設・レストランを活用したアグリビジネスの視点から、「アグリビジネス戦略特殊問題」の講義を開講し、地域活性化の拠点となるための課題解決に向けた方策を探求
- ・道の駅「愛彩ランド」利用者の実態、ニーズの確認

反映

- ・道の駅「愛彩ランド」の強みを生かした活性化施策を検討

反映

発展

### 企画・提案

- ①子供を連れた若い夫婦をターゲットにした、自然にふれあいながら食事やショッピングを楽しめる機会や場の提供
- ②通信教育による多様な技能習得や勉強会等による従業員の育成（コミュニケーションを生かした他店との差別化）
- ③売れ残り商品を利用した惣菜の販売や商品のブランド化

### 【和歌山大学】

和歌山大学は、1949年に実学志向の和歌山経済専門学校（創立当初は和歌山高等商業学校）及び和歌山師範学校、和歌山青年師範学校を包括し、「教育基本法・学校教育法の精神に則り、学術文化の中心として広く知識を授け、深く専門の学芸を研究・教授し、社会に寄与する人材を育成する。」という目的と使命のもとに、経済学部・学芸学部（現・教育学部）の2学部からなる新制大学として発足しました。

1995年にシステム工学部、2008年に観光学部を開設し、現在は4学部4大学院研究科を擁しています。

和歌山県唯一の国立総合大学として、設立当初の使命と役割を確かに継承しながら、地域と融合し、地域の発展に寄与する学術研究の推進、地域創生を牽引する人材を育成しています。

### 【道の駅「愛彩ランド」について】



岸和田市のほぼ中央に位置し、付近には、「蜻蛉池公園」や「神於山」などの豊かな自然環境が共存する場所です。

駅内には、地域交流拠点施設のほか、農水産物直売所や地域の食材を活かしたレストラン、農産物加工所があり、「岸和田らしさ」を内外の人々に伝える交流の拠点を目指しています。



**農水産物直売所**  
地元農家や水産業者が安全・安心で新鮮な農産物、水産物を提供



**ビュッフェ&カフェ**  
地域の旬の食材を使った料理をビュッフェ形式で提供



**体験交流館**  
食と農に関する体験を通じて、地域農業情報の発信や生産者と消費者との交流の場



**こだわり手作り工屋**  
地産食材を利用した農産加工食品の製造

# 道の駅「愛彩ランド」と和歌山大学との連携

## 平成27年度 取組み内容：課題解決に向けた企画提案

### 取組み状況

●道の駅「愛彩ランド」が抱える課題について、ワークショップ等を活用し、学生自らが課題解決に向けての方策を探求



**道の駅 シンポジウム**  
～3つの事例から考える「道の駅」の役割とその先へ～

「道の駅」は日本が生んだ独自の地域活性化施設として、今や国内では1,000を超え、発展途上国を中心に世界各国で普及している。今回のシンポジウムでは、学生、研究者、実務家の英知を集め、「道の駅×地方創生」で新たな“解”を導き出す。

日時：平成28年 2月3日 (水) 14:00～16:30 (13:45開場)  
会場：和歌山大学経済学部本館棟5階 第2会議室  
参加費：無料 (事前申込不要)



取組みにおける意見交換  
和歌山大学経済学部主催「道の駅シンポジウム」

### 道の駅へのヒアリングと現地調査を踏まえ改善すべき内容を提案

・客層の高齢化

・子供を連れた若い夫婦をターゲットにした、自然にふれあいながら食事やショッピングを楽しめる機会や場の提供 (恵まれた自然環境)

・売れ残り商品への対応不足

・売れ残り商品を利用した惣菜の販売や商品のブランド化 (加工施設の活用)

・従業員と顧客のコミュニケーション不足

・通信教育による多様な技能習得や勉強会等により従業員を育成することで、対顧客能力を向上 (コミュニケーションを重視することによる他店との差別化)



道の駅への企画提案

